

講義概要

静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクールについて
<http://www.ric-shizuoka.or.jp/mono/school.html>

日程		講義名	講師	講義概要
8月23日	金	1 ものづくり基礎概念	國方	ものづくりとは何かという基本を学び、職場の生産性を向上させるためにどのような指標を定めてどう管理していくのかに付いて学びます
		2 良い流れを作る現場の見方	國方	「良い流れ」を実現するための考え方、現場の見方、改善の進め方のアウトラインを学びます
8月30日	金	3 VSMの基礎	柴田	「VSM(バリュー・ストリーム・マップ)」とは何か、VSMを使って現場の見方を変えることについて学びます
		4 VSM作成演習	柴田	VSMは現場実習で必ず作成することになるので、具体的な事例・演習を通して、VSM作成のスキルが身につくよう学びます
9月6日	金	5 生産性向上	野毛	生産性とは何か、「良い流れ」を実現することによる生産性向上のメリットについて学びます
		6 良い流れを作る在庫管理	仲田	生産リードタイムに大きな影響を及ぼす「在庫」についてその功罪を良い流れづくりの観点から学びます
		7 良い流れを作るレイアウト	高橋	生産の良い流れをつくるレイアウトの考え方に基づいたレイアウトプランニングの手法と、その評価方法について事例を交え学んでいきます
		8 良い流れをつくる品質管理	小楠	「良い流れ」を構築するには、「不良を作ってから検査」するのではなく、「不良を作らない」ように品質管理する事が重要であるため、その手法を学びます
9月13日	金	9 工程分析と作業改善	山本	モノの流れ、人の仕事の流れを工程記号で表し、図表にすることで問題点を見つけるための分析手法と、工程改善、作業改善の着眼点を学びます
		10 時間分析	高橋	現場改善を効果的に行うには、現状を定量的に評価していく必要があります。時間観測の方法を学び、改善につなげる分析手法を学びます
		11 グループテクノロジー	國方	形状、寸法、素材、工程などの類似性に基づいてグループ化し、多種少量生産に大量生産効果を加えて生産性向上を実現するグループテクノロジーに付いて学びます
9月20日	金	12 7つのムダ	野毛	ムダは付加価値を生みません。ムダを排除することで正味作業の割合を高めることができます。ムダを7つに分類し見つけ排除することで生産性向上につながります
		13 IE ムダな作業をなくす考え方	飯田	人が行うあらゆる作業を最も効率的に行う為に、ムダな動作を省き価値のある作業を増やす考え方・原則について学びます
		14 良い流れを作る生産	山本	部品の組立を体験する中で、ロットサイズ別生産、一個流し生産などそれぞれの生産方式による在庫量、リードタイムの違いを体感します。また工程改善や作業改善の気づきを学びます
9月27日	金	15 IoT、ロボット導入ポイントと導入事例	山本	現場で発生する工程データをIoTを利用して捕捉するための考え方、ロボット導入事例(加工と搬送)と失敗例(手作業の追加)について学びます
		16 IoT、AIの導入と取組事例の成果	高橋	製造現場におけるIoT/AIの導入ポイントと、取得したデータの有効な活用方法、そしてデータ活用から良い流れを実現する方法を事例を交えながら学んでいきます
		17 日程管理	山本	設備や金型の製作、レイアウト変更など長期にわたる工程の日程管理の方法について工程の順序や進捗管理の方法を学びます
		18 リーダー・リーダーシップ	須山	組織とは何かを再度共通認識しながら、現場リーダーの役割を明確にしていきます。また、リーダーシップとは何かを体験ワークを通じて学び、新しいリーダーシップのあり方を掴んでいただきます
10月4日	金	19 中小企業の実例	企業	調整中
		20 平準化生産	仲田	生産量を一定に保ち、一定のタイミングで製品を生産することで変動する需要に柔軟に対応し、淀みのない良い流れづくりに繋げる平準化の考え方を学びます
		21 5S 5定	飯田	現場カイゼンの基本である5S・5定の必要性は分かっていますが、なかなか定着しません。なぜ定着しないのか、事例を示し、実践する上でのコツを学びます
		22 改善後のVSM	雨川	現状のVSM事例に対し、将来像を描き、この将来像を実現するための課題を明確にした上で、改善策を策定し実行していくことにVSMが有効に働くことを学びます
10月11日	金	23 分析ツールの使い方	小楠	現場改善実習時における現場での現状分析や問題点把握に役に立つ分析ツールを、PCのスプレッドシートを利用して学びます
		24 現場実習事例	雨川	現場実習事例を通して、企業として存続していくためには「良い流れ」を作り、リードタイム短縮、在庫削減、不良低減等を継続して実施していく必要があることを学びます
		25 現場実習の進め方	飯田	講義で習得した考え方や手法を実際の現場でどう活かすのかを、現場実習に入る前に要点を確認し、有意義な実習としましょう